



学校だより

8・9月号

横浜市立大道小学校

令和元年8月27日

学校ホームページ：[横浜市立大道小学校](#)

検索

副校長 正木 良雄

「夏を過ごして」

長かった夏休みが終わり、8月27日（火）から再び子どもたちの元気な声が飛び交う学校が始まりました。今夏は、猛暑と台風の影響が交互にやって来る慌ただしい気候でしたが、ご家庭のご協力により大きな事件・事故の報告もなく、前期後半の学校生活のスタートをすることができました。ありがとうございます。

休み前に行われた夏祭りをはじめ、地域の行事やご家族でのふれ合いの時間など、それぞれに夏ならではの貴重な時間を過ごされたことと存じます。私たち学校職員も恒例の地域行事に参加させていただきました。このような行事をここまで継続させるために、支えてくださる皆様の並々ならぬご苦勞とご尽力、そして、地域と子どもたちへの深い愛情を今回も強く感じました。これからも大道小の子どもたちは、家族や地域の方々そして友だち・先生方との関わりを通して、社会性や豊かな心を自ら育み、成長していけると思います。

長期休業の後には、生活習慣の乱れが見受けられる時期です。「習慣は第二の天性」と言われることもありますが、挨拶をする、返事をする、適切な言葉遣いをする、後始末をする、毎日決まった手伝いをする、机で決まった時間学習をする等、励ましながら、そしてほめながら習慣づけたいものです。

特に挨拶については、本校でも夏休み前の3週間「あいさつ週間」と銘打って挨拶の習慣づけを目指した取組を行いました。今後も継続的に指導していきたいと考えています。学校や家庭や地域と連携し合って取り組み、子どもも大人も地域で挨拶を交わし合い、生き生きとした子どもたちの姿を実現させたいと思っています。

さて、「楽しい時間はあっという間に過ぎる」と言われますが、夏休みをふり返って子どもたちはどのように感じているのでしょうか。認知的に見た「時間の相対性理論」という話を耳にしたことがあります。一見、堅苦しい内容と思われそうですが「脳がどのように働いているかにより、時間は伸び縮みする。」と言われると、各自の体験から容易に納得できる話になります。また、新しいことを取り入れることは時間を長く感じさせる原因になるとも言われています。子どもにとっての1年は大人の1年に比べて遥かに長く感じるのもそのためです。子どもも大人も、ふり返ったらいろいろなことが思い浮かぶような時間が過ごせたら有意義だったと言えそうです。

夏休みの終わりを告げる金沢まつりの花火も盛大に打ち上げられました。それぞれの夏休みを過ごし、今日からいよいよ再開です。子どもたちに確かな自信と喜びが刻まれる日々にしていきたいと考えています。

今後とも、皆さまのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

